

ワーク中心

プログラム番号 2501F

学生のモチベーションを高める授業デザインと実践

■講師

川瀬 和也（宮崎公立大学 人文学部 助教）

東京大学文学部卒業，同大学院人文社会研究科博士課程満期退学。修士（文学）。在学中に，「東京大学フューチャー・ファカルティ・プログラム（東大FFP）」を第1期生として履修。東京大学大学総合教育センター，徳島大学総合教育センターを経て現職。栗田佳代子・日本教育研究イノベーションセンター編著，『インタラクティブ・ティーチング』では，第3章「学習の科学」の執筆を担当した。

■プログラム概要

学生の学習意欲を引き出すために，どんな工夫ができるでしょうか。学生の学習意欲は，学習成果に直結します。また，授業への参加や授業外での学修を促すためにも，学習意欲を高めることは不可欠です。

このプログラムでは，「学習の科学」と呼ばれる分野での研究成果を踏まえた実践の方法についてご紹介します。学習の科学では，「価値」と「予期」が学習への動機づけに深く関わっていること，また，授業設計においても，これらの要因を考慮することが有効であることが明らかにされています。この理論を踏まえて，実際に受講者の皆さん自身の授業を改善するための工夫について考えます。プログラム後半では，私が実際に大人数授業や少人数の演習形式の授業で実践し成果を挙げている方法についてもご紹介したいと思います。

プログラムでは，グループワークを多く実施します。積極的にご参加ください。

■主な受講対象

- ・学生の学習意欲を引き出す授業に取り組みたい教員。
- ・アクティブ・ラーニングや授業外学修への取り組みを促したい教員。
- ・他の教員と授業実践における工夫や悩みを共有したい教員。
- ・さまざまな形式の授業に応用のきく理論を学びたい教員。

■本プログラムの到達目標

1. 学生の学習意欲を高める方策について，「価値」と「期待」という言葉を用いて説明できる。
2. 自身の授業に取り入れたい，学生の学習意欲を高めるための工夫を説明できる。
3. 学習の科学の知見を授業改善に役立てるためのコツを説明できる。
4. ワークショップ終了後も学び続けるためのネットワークを作ることができる。

■日時・場所

日時：平成29年8月25日（金）10：00～12：00

場所：徳島大学常三島キャンパス